

政策シート

政策名 **01 農業参入機会の創出による担い手の確保**

予算費目名 **01 農業政策推進費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 **01 産業経済**

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 **02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業**

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

経営感覚を有した農業経営者の育成により、本市の農林水産業の発展を図るとともに、障がい者や高齢者などの多様な担い手の農業参画による農業の活性化を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

② 飢餓	⑧ 成長・雇用	⑩ 不平等	⑱ 生産・消費				
------	---------	-------	---------	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	4,726	6,271	6,500			
決算	4,509	5,000				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	9,240	7,000	7,700			
年間経費(予算又は決算+A+B)	13,749	12,000	14,200			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
農業経営塾卒塾者数 (H28～累計)	人	目標	45	55	70	85	100	115
		実績	55	55				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

経営感覚を有した農業経営者の育成により、本市の農業の発展を図るとともに、障がい者や高齢者、一般市民などの多様な担い手の農業参画による農業の活性化を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	進んでいる
農業経営塾の開催を通じて、次代の農業を牽引するリーダーを育成した。 さらに、障がい者や高齢者、子供など、多くの方が農業に関わることができる機会を創出し、農業の担い手の確保に結びつく事業を推進することができた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	もうかる農業推進事業	○	○	○		14,200	6,500	1.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						14,200	6,500	1.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	01	001711000	01	農業水産課	河野 和世	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 もうかる農業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

農業経営塾開催事業により本市の農業をけん引するリーダーの育成・確保を図るとともに、多様な担い手育成事業により、障がい者や高齢者などの多様な担い手の農業参画を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H27	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(4)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	17	50					

(4) 関連するSDGsのゴール

	<input type="radio"/>	②飢餓						<input type="radio"/>	⑧成長・雇用		<input type="radio"/>	⑩不平等
	<input type="radio"/>	⑩生産・消費										
事業とゴールの関連性		高齢者、障がい者等の社会参画などの効用を、農業経営の改善や多様な担い手の確保・育成などに活かすとともに、持続可能な農業経営体を育成する。										

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	4,726	6,271	6,500			
	決算	4,509	5,000				
	国・県支出						
	市債						
	その他			150			
	一般財源 一般会計繰入金	4,509	5,000	6,350			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,240	7,000	7,700			
人工	正規	1.2	1.0	1.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3					
年間経費(予算又は決算+A+B)		13,749	12,000	14,200			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
農業経営塾卒業者数(H28～累計)	I-1(4) イ		目標	45	55	70	85	100	115
			実績	55	55				
売上1億円以上の経営体数(経営体)		50	目標	64	70	75	80	85	90
			実績	-	-				
ユニバーサル農業シンポジウム参加者数(人・H30～累計)	I-1(4) イ	17	目標	170	200	300	400	500	600
			実績	101	220				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	01	001711000	01	農業水産課	河野 和世	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目 No.50】

1 農業経営塾開催事業

市内の意欲ある農業者を対象に、農業経営塾を開催する。

目的: 経営力・販売力等の向上により、本市の農業をけん引するリーダーを育成する。

内容: 卒塾生に対する経営相談の開催、農業経営改善セミナーの開催

【R1-R4重点戦略項目 No.17】

2 多様な担い手育成事業

(1) ユニバーサル農業推進事業

ユニバーサル農業の普及啓発のため、シンポジウムの開催や調査・広報業務を実施する。

(2) 浜松ジュニアビレッジモデル事業

小中学生対象の農業をテーマとした人材育成プログラムのモデル事業を実施する。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

農業経営塾開催事業では、卒塾生を対象とした経営相談やセミナーの開催を通じて、これまで経営塾で学んだ内容の学びなおしや経営の見直しを図ることができた。

また、ユニバーサル農業推進事業を通じて、障がい者や高齢者等の多様な担い手の確保・育成を図ることができた。また、浜松ジュニアビレッジモデル事業を通じて、将来の担い手となりうる人材の育成を図ることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会の様々な価値観や仕組みが変化しており、そのような状況に対応した農業経営の見直しや事業の実施体制が求められる。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業経営塾は学びなおしの期間として、これまでの卒塾生を対象とした経営相談やセミナーを開催した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業経営塾については、R3年度から新たな塾生を募集し、経営理念やマーケティングなどを学ぶゼミを開催する。

ユニバーサル農業推進事業については、デジタルを活用した動画による発信を行うことで、取組みの拡大を図る。

浜松ジュニアビレッジモデル事業は、企業との連携や運営する人材の確保、自主財源の確保により、事業の自立化に向けた体制を構築していく。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目 No.50】

1 農業経営塾開催事業

市内の意欲ある農業者を対象に、農業経営塾を開催する。

目的: 経営力・販売力等の向上により、本市の農業をけん引するリーダーを育成する。

対象: 市内の意欲ある農業者等

内容: 新規塾生を対象としたゼミ及び卒塾式の開催

【R1-R4重点戦略項目 No.17】

2 多様な担い手育成事業

(1) ユニバーサル農業推進事業

ユニバーサル農業の普及啓発のため、シンポジウムの開催や広報業務を実施する。

(2) 浜松ジュニアビレッジモデル事業

小中学生対象の農業をテーマとした人材育成プログラムのモデル事業を実施する。

政策シート

政策名 01 農業参入機会の創出による担い手の確保

予算費目名 02 農業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

基幹的な担い手の育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑧成長・雇用	⑩不平等						
-----	--------	------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	260,578	191,523	167,832			
決算	1,434,157	117,628				
人件費(報酬等)(A)		664	1,103			
人件費(人工分)(B)	74,480	78,680	75,740			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,508,637	196,972	244,675			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
認定新規就農経営体数 (H26～累計) (件)	経営体	目標	59	67	75	83	91	99
		実績	56	65				
認定農業者及び認定新規就農者の新規認定件数 (経営体)	経営体	目標	86	126	166	206	246	286
		実績	96	139				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

基幹的な担い手の育成・確保等を支援し、“もうかる農業”の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・本市の農業を担う認定農業者の数は、直近5年間では徐々に増加傾向であり、補助事業の活用による経営基盤の強化も進んでいる。 ・令和2年度の国庫補助事業は、強い農業・担い手づくり総合支援交付金(先進的農業経営確立支援タイプ・地域担い手育成支援タイプ)で2経営体が採択された。 ・令和元年台風19号(R1→R2繰越)及び令和2年7月豪雨による被災農業者向け補助事業を活用した復旧支援に取り組んだ。 ・政策の指標である認定新規就農経営体数は年度目標に達しておらず、新規就農者へのさらなる支援が必要。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	生産・経営基盤強化事業	—	—	○		10,968	7,748	0.3			0.4	
2	担い手育成支援事業	○	○	○		226,252	158,229	9.0	0.7		0.5	1,103
3	経営所得安定対策推進事業	—	—	—		6,101	501	0.8				
4	農業振興デジタル運営経費	—	—	—		1,354	1,354					
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						244,675	167,832	10.1	0.7		0.9	1,103

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	02	001715000	01	農業振興課	豊田 周一	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 生産・経営基盤強化事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

経営意欲と能力のある基幹的な担い手が農業生産及び経営基盤の強化や近代化を図るために投資する際の経費負担を軽減し、農業の振興を図ることを目的とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S36	—	一般会計	自治事務	浜松市農業経営資金償還利子補助金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓								
事業とゴールの 関連性	②農業生産性、農業所得、持続可能性及び災害等に対する適応能力を向上する								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	8,080	6,067	7,748			
	決算	7,488	5,423				
	国・県支出	332	251	197			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	7,155	5,172	7,551			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,620	4,340	3,220			
人工	正規	0.3	0.3	0.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	0.8	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		12,108	9,763	10,968			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
農業制度資金(利子助成対象分)新規借入(件)		-	目標	34	34	20	20	20	20
			実績	23	12				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 02 01 02 001715000 01 農業振興課 豊田 周一 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ① 農業経営基盤強化資金等償還利子助成事業 [決算5,418千円]
経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体育成のため、農業者が借入れた農業経営基盤強化資金(平成24年度以前の資金借入申込または平成25年5月31日までの貸付決定分のみ)及び農業近代化資金の利子の一部を助成する。
- ② 農業生産維持緊急対策資金償還利子助成事業 [決算5千円]
突発的な経済・社会の変動に対応しうる農業経営展開に必要な事業資金の融資を円滑にするため、台風災害への支援として、農業者が借入れた農業者支援資金に対して利子の一部を助成する。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・令和2年度の新規利子助成対象者は、目標の34件に対して実績12件と目標を下回った。要因として、新型コロナウイルス感染症の影響から、農業者が経営拡大を図るための借入を躊躇したことが考えられる。
- ・新型コロナウイルスの影響に終息の見通しが立った場合には、予定していた経営拡大を図るために農業制度資金の活用が活発化することが見込まれる。
- ・経営体育成助成事業については、採択ポイントが高くなり、件数が以前と比べ少なくなっているが、融資の活用が採択要件となっているため、引き続き需要が見込まれる。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ① 農業経営基盤強化資金等償還利子助成事業
農業制度資金の新規借入件数は、国の補助事業の採否による増減幅が大きい。
- ② 農業生産維持緊急対策資金償還利子助成事業
助成対象者は前年度からの継続対象者のみであり、返済による借入金残高の減少に伴い助成額が減少した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ① 農業経営基盤強化資金等償還利子助成事業
通常の新規借入に加え、自然災害等の被害を受けた農業者による、復旧のための農業制度資金の利用や、国の補助事業の申請に伴う制度資金の利用が予想されるため、全体の事業費は今年度よりも増加する見込み。
- ② 農業生産維持緊急対策資金償還利子助成事業
支援対象となる新たな災害等が発生しない限り、徐々に減額する。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ① 農業経営基盤強化資金等償還利子助成事業
経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体育成のため、農業者が借入れた農業経営基盤強化資金(平成24年度以前の資金借入申込または平成25年5月31日までの貸付決定分のみ)及び農業近代化資金の利子の一部を助成する。
- ② 農業生産維持緊急対策資金償還利子助成事業
突発的な経済・社会の変動に対応しうる農業経営展開に必要な事業資金の融資を円滑にするため、台風災害への支援として、農業者が借入れた農業者支援資金に対して利子の一部を助成する。

事業シート (事業名) 02 担い手育成支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

認定農業者及び認定新規就農者の認定を推進し、自立して効率的かつ安定的な農業経営を営めるよう支援する。また、認定農業者等に対しては、法人化や農業用機械・施設等の導入支援など、“もうかる農業”の実現に向けた取り組みを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S55		一般会計	自治事務	農業経営基盤強化促進法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(3)ウ						
重点戦略	○	(戦略項目)	47						

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓					⑧成長・雇用	⑩不平等
事業とゴールの関連性	②農業生産性、農業所得、持続可能性及び災害等に対する適応能力を向上する ⑧農業分野の雇用創出、起業（新規就農）を促進する ⑩農業分野の所得向上を図る						

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	250,956	183,758	158,229			
	決算	1,425,127	111,008				
	国・県支出	1,005,181	91,957	140,933			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	419,946	19,051	17,296			
人件費(報酬等)(A)			664	1,103			
人件費(人工分)(B)		63,560	68,040	66,920			
人工	正規	8.4	9.0	9.0			
	再任用(h31)	0.7	0.7	0.7			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.8	0.9	0.5			
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,488,687	179,713	226,252			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
認定農業者数(名)		-	目標	1191	1208	1231	1254	1277	1300
			実績	1154	1135				
新規就農者支援件数(件)		-	目標	61	72	83	94	105	120
			実績	46	45				
認定農業者及び認定新規就農者の 新規認定件数(経営体)		47	目標	86	126	166	206	246	286
			実績	96	139				
認定新規就農経営体数(H26～累 計)(件)	I-1(3) ウ	-	目標	59	67	75	83	91	99
			実績	56	65				
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	02	001715000	02	農業振興課	豊田 周一	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

[R1-R4重点戦略項目No.47]

- ①農業次世代人材投資事業 [決算76,889千円]
 - ・認定新規就農者の認定に向け、認定希望者との面談や青年等就農計画の作成支援等を推進した。
 - ・要件を満たす認定新規就農者に農業次世代人材投資資金(経営開始型)を交付した。
 - ・資金交付対象者にサポートチーム体制による支援や中間評価等を実施した。
- ②認定農業者等育成支援事業 [決算13,473千円]
 - ・市内認定農業者等の営農活動の継続に必要な農機・施設の更新等にかかる経費を支援した。
- ③担い手育成総合支援事業 [決算4,820千円]
 - ・認定農業者の認定を推進した。
 - ・浜松市認定農業者協議会及び担い手育成総合支援協議会の活動を支援した。
- ④経営体育成助成事業 [決算15,827千円,(前年度繰越分8,345千円)]
 - ・農業者による令和元年台風19号及び令和2年7月豪雨による被災施設の再建や認定農業者等の農業用機械・施設の導入を支援した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・認定農業者数は、農業振興基本計画策定時(平成21年度)の1,206名から、平成22年度の1,229名をピークとして平成25年度に1,125名まで減少した。その後は微増傾向にあるが、令和2年度は新規就農者の確保に関連する指標がいずれも目標を下回る結果となり、さらなる取組が必要である。
- ・人・農地プランが実質化されたが、引き続き地域の話し合い等の場の設定にも努め、地域ごとの農業者の意見を踏まえたプランを目指していく必要がある。
- ・農業次世代人材投資資金を活用した新規就農者への支援については、ニーズが高い給付型資金の制度を活用した支援の継続が必要である。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ①農業次世代人材投資事業: 交付(認定)希望者との面談・認定、資金交付、サポート、中間評価を実施した。
- ②認定農業者等育成支援事業: 24件の事業申請に対し22件を採択し、機械・施設の更新等を支援した。
- ③担い手育成総合支援事業: 認定協の運営と担い手協の家族経営協定等の活動を通じて担い手支援を実施。
- ④経営体育成助成事業: 当初事業2件が採択され、繰越(R1→R2)事業を1件実施した。令和元年台風19号及び令和2年7月豪雨による被災農業者向け経営体育成支援事業による復旧支援に取り組んだ。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ①農業次世代人材投資事業: 中間評価の実施件数は拡大していくことから、手続きの見直し等による事務の効率化を図る必要がある。
- ②認定農業者等育成支援事業: 本補助事業の未活用者を要件とすることで、幅広い支援に取り組む。
- ③担い手育成総合支援事業: 県との連携などにより、今後の制度変更への円滑な対応に努める。
- ④経営体育成助成事業: 補助事業活用を希望する認定農業者等への情報提供を進める。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

[R1-R4重点戦略項目No.47]

- ①農業次世代人材投資事業
 - ・認定新規就農者の認定を推進する。
 - ・要件を満たす認定新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金の交付を推進する。
- ②認定農業者等育成支援事業
 - ・市内認定農業者等の営農活動の継続に必要な農機・施設の更新等にかかる経費を支援する。
- ③担い手育成総合支援事業
 - ・認定農業者の認定を推進する。
 - ・浜松市認定農業者協議会及び担い手育成総合支援協議会の活動を支援する。
- ④経営体育成助成事業
 - ・人・農地プランに位置付けられた認定農業者等の農業用機械や施設の導入を支援する。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	02	001715000	03	農業振興課	豊田 周一	R3.7.1

事業シート (事業名) 03 経営所得安定対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

国が導入する経営所得安定対策制度の円滑な実施のため、国に代わり現場における推進活動や要件確認、農業者からの申請手続支援を行うもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H23	—	一般会計	自治事務	経営所得安定対策実施要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓								
事業とゴールの 関連性	②農業生産性、農業所得、持続可能性及び災害等に対する適応能力を向上する								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,542	1,698	501			
	決算	1,542	1,197				
	国・県支出	1,542	1,197	501			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,300	6,300	5,600			
人工	正規	0.9	0.9	0.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		7,842	7,497	6,101			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
営農計画書回収率(%)		-	目標	100	100	100	100	100	100
			実績	81	75				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	02	001715000	03	農業振興課	豊田 周一	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

①経営所得安定対策調査事業 [決算1,197千円]

- ・経営所得安定対策制度の実施に伴い、市内農業者へ制度の周知を行うと共に、米の生産数量の目安を設定し、需要に応じた生産の促進を図った。
- ・経営所得安定対策制度への加入申請を行った農業者が、営農計画に従って作物作付けを行っているか現地確認を実施した。
- ・営農計画書をベースとして、水田台帳の整備を行い、次年度に向けた基礎データを作成した。地域の实情に沿ってそれぞれの地域において交付金の内容が設定できる産地資金についての事務処理を実施した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
 指標の達成度

- ・令和2年度畑作物の直接支払交付金(3名)_352,000円
- ・令和2年度水田活用の直接支払交付金(31名)_12,095,224円
- ・令和2年度収入減少影響緩和交付金(10名)
- ・営農計画書の回収率が7割を越え、農家への制度内容の周知を図ることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・対象農地の精査を行い、適切な補助金運用について周知した。
- ・計画書の作成業務について、委託によらず、職員で実施することとし、委託料が減少した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国の推進事務費の活用や、県・農協・農業共済組合等関係機関との連携により、スムーズな事務処理を行う。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・経営所得安定対策制度の実施に伴い、需要に応じた生産の促進と市内水田農業全体としての所得向上のため、市内農業者へ制度の周知を行う。
- ・経営所得安定対策制度への加入申請を行った農業者が、営農計画に従って作物作付けを行っているか現地確認を実施する。
- ・営農計画書をベースとして、水田台帳の整備を行い、次年度に向けた基礎データを作成する。地域の实情に沿ってそれぞれの地域において交付金の内容が設定できる産地資金についての事務処理を実施する。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	01	02	001715000	04	農業振興課	豊田 周一	R3.7.1

事業シート (事業名) 04 農業振興デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

農業振興課のデジタル関連事業に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R03				

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			1,354			
	決算						
	国・県支出			1,056			
	市債						
	その他			298			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				1,354			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 02 01 02 001715000 04 農業振興課 豊田 周一 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

X

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)